

2025年度版

奨学金の手引

奨学金申請を希望する方へ

奨学金新規募集説明会(日本学生支援機構「貸与」・「給付」奨学金(在学採用)／学内奨学金)

対象	開催日時		場所
全学部生	4/10(木)	9:30～11:00	学習院創立百周年記念会館
大学院生・法科大学院生	4/10(木)	16:00～17:00	

主な学内奨学金の申請スケジュール

※スケジュール詳細は P.15 参照

【給付の奨学金】学習院大学新入学生特別給付奨学金・学習院大学学費支援給付奨学金

手続き内容	日時	場所
G-Port奨学金申請(申請情報入力) ※インターネットによる申込書作成・印刷	学習院大学新入学生特別給付奨学金：6月下旬 学習院大学学費支援給付奨学金：9月下旬	
〈書類提出(郵送可)〉 ①「2025年度 学内奨学金申請書」 ②「収入に関する証明書」 ③「特別控除の証明書類(該当者のみ)」 ④「第2期分納付金延納願(学費支援給付奨学金のみ)」	学習院大学新入学生特別給付奨学金： 6月下旬 学習院大学学費支援給付奨学金： 9月下旬	中央教育研究棟 1階 学生センター学生課

高等教育修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金及び授業料等減免) 日本学生支援機構貸与奨学金の申請スケジュール(春採用)

手続き内容	日時	提出先
・スカラネット入力 ・インターネットからのマイナンバー提出 ・申込書類	4/23(水)	中央教育研究棟 1階 学生センター学生課
奨学金確認書兼地方税同意書の提出	別途案内予定	日本学生支援機構へ郵送

奨学金に関するお問い合わせ先

取扱窓口	場所	窓口時間	電話番号
学生センター 学生課	中央教育研究棟 1階	月～金 8:40～16:45 土 8:40～12:30	03-5992-1183

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

奨学金の手引 — 2025年版 —
発行 2025年4月
学習院大学 学生センター 学生課
〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

奨学金を申請するにあたって

この手引は、奨学金を申請するにあたっての心構えや注意事項、奨学金の種類、具体的な手続き方法等について説明しています。

●奨学金を受けるのは学生であるあなた自身です。

奨学金の手続き（書類の準備・作成・登録の準備）や問い合わせは父母等に任せることなく、自分自身で責任を持って行いましょう。

●学内奨学金の申請では募集要項をよく確認しましょう。

学内奨学金の申請資格（「学力基準」・「家計基準」等）は募集要項に掲載されています。募集要項は学内奨学金の募集前に G-port にて通知をしておりますので、必ず確認しましょう。

●期限を過ぎての手続きは一切認められません。

指定した期日までに書類の提出が無い場合や、その期日までに添付書類の用意ができなかった場合等、書類不備の場合は申請しなかったものと判断します。

申請する奨学金によって提出しなければならない書類は異なります。必要な書類は、期日を確認のうえ余裕を持って準備を進めてください。

●G-Port や大学 HP をよく見ましょう。

奨学金の募集案内や申請に関する連絡、採用結果通知、採用後の手続き等の重要な連絡は G-Port や大学 HP で行いますので、よく確認をしてください。なお、個人情報を扱うため原則電話でのお問合せには一切応じません。

お知らせの確認不足により、奨学金の手続きを行うことができなかったとしても、大学は一切責任を負いませんのでご了承ください。

G-port はメッセージ転送設定が可能となっており、任意のメールアドレス 2 件を登録することができます。1 件を学生、もう 1 件を父母等のメールアドレスとすることで重要な情報について見逃す可能性を少なくできます。

●奨学金は選考によって採用者が決まります。

奨学金制度には主に「学力基準」と「家計基準」が設けられており、申請にあたってこれらの要件を満たすことが条件となりますが、日本学生支援機構以外の奨学金は申請資格を満たしていても、推薦人数・予算枠の理由で必ず採用されるとは限りません。

個人情報の取扱いについて

提出された書類の情報は、奨学金業務（返還業務を含む）のために利用されます。この目的の適正な範囲において、あなたの情報が、(独)日本学生支援機構や奨学金振込の金融機関に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

奨学金の活用方法

● STEP1 奨学金について理解しよう

奨学金には、「給付型」と「貸与型」があります。

給付型 原則として返還の義務がないもの。

貸与型 返還の義務があるもの。卒業後の返還計画を十分に考えましょう。

本学では、大まかに分けて以下の3つの奨学金に申請できます。

国の奨学金
(日本学生支援機構奨学金)
(給付・貸与)

学習院大学
独自の奨学金
(給付)

民間団体・地方公共団体
の奨学金
(給付)

⇒奨学制度の種類については P.4 参照。

奨学金新規募集説明会に出席し、奨学金について理解を深めましょう。

日本学生支援機構奨学金の申請を希望する方は、説明会にて申請資料の配布及び制度に関する詳しい説明を行いますので、必ず参加してください。(例年 4 月上旬に開催予定)

※ 説明会の内容を、YouTube にてオンデマンド配信する予定です。

● STEP 2 どれくらい奨学金が必要なかを確認しよう

自身の年間学費を把握し、家族と相談のうえ、どれくらいの経済支援が必要なかを確認してから、奨学金の申請を行ってください。

★4年間の学費を安定的に確保するには、日本学生支援機構「貸与」奨学金を活用しつつ、併せて給付型奨学金へ出願する事をお勧めしています。給付型奨学金は申請資格を満たしていても、全員採用されるとは限りません。

奨学金とは別に、本学の学費納付を目的とした融資を希望される場合は、複数の金融機関と「教育ローン」の金利優遇措置の提携も行っていますので、そちらもご活用ください。「教育ローン」を利用する場合、「教育ローン」の金利分を助成する「学習院大学教育ローン金利助成奨学金」の申請も検討してください。

● STEP 3 申請方法や期日を確認しよう

申請を希望する奨学金が決まったら、申請方法や期日を確認し、必要な書類を準備のうえ申請してください。期日を過ぎてしまったり、書類に不備があった場合は受付できませんのでご注意ください。

CONTENTS

I. 本学の奨学金制度について	
1. 入学前に申請できる奨学金（入学前予約型奨学金）	4
2. 入学後に申請できる奨学金	4
給付の奨学金（返還不要）	5
貸与の奨学金（卒業後に返還必要）	5
民間団体・地方公共団体の奨学金	6
その他支援制度	6
緊急・応急の奨学金	6
留学希望者のための奨学金制度	6
II. 主な奨学金の概要	
1. 給付の奨学金（返還不要）	7
①学習院大学新入学生特別給付奨学金	7
②学習院大学学費支援給付奨学金	7
③学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金	8
④学習院大学教育ローン金利助成奨学金	8
⑤学習院大学家計急変奨学金	8
⑥学習院父母会奨学金	9
⑦推薦制の奨学金（応募不可）	9
高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構「給付」奨学金	10
学習院大学独自奨学金と他の奨学金（高等教育の修学支援新制度含む）の併用可否一覧	12
2. 貸与の奨学金（卒業後に返還必要）	13
①日本学生支援機構「貸与」奨学金	13
III. 主な奨学金採用までのスケジュール	
1. 奨学金新規募集説明会日程表	15
2. 主な学内奨学金（申請から採用まで）〈学部生〉	15
3. 高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金及び授業料等減免）	
日本学生支援機構貸与奨学金	16
①申請の際の注意	16
②申請スケジュール（定期採用（4月））	17
③申請スケジュール（2次採用（10月））	18
4. 入学前予約型奨学金〈入学後手続きの流れ〉	19
IV. 申請基準（人物・学力基準・家計基準）	
1. 学部生	21
2. 大学院生、法科大学院生	28
3. 家計基準の自己判定シート	29
V. 学内奨学金申請に必要な書類 （学費支援給付奨学金・新入学生特別給付奨学金・家計急変奨学金・博士後期課程給付奨学金）	
1. 収入に関する証明書	30
①学部生	30
②大学院生、法科大学院生	30
2. 控除に関する証明書（学部生のみ）	30
VI. 参考資料	
1. 学内奨学金の申請方法について	32
G-Portの入力方法	32
学生課窓口に提出する書類	35
2. 事務取扱窓口	37
3. 奨学金に関する各種情報について	37

I 本学の奨学金制度について

本学で申請できる主な奨学金制度を紹介します。

1. 入学前に申請できる奨学金（入学前予約型奨学金）

本学入学前に申請できる奨学金は以下のとおりです。

学習院独自の奨学金

- 給付 学習院校友会ふるさと給付奨学金
- 給付 学習院大学入学前予約型給付奨学金「目白の杜奨学金」
- 給付 学習院大学入学前予約型給付奨学金「さくら奨学金」

国の奨学金

- 給付・貸与 日本学生支援機構奨学金（予約採用）

・入学前予約型奨学金は入学後、4月中に採用に関する手続きが必要です。
採用候補者に選ばれた方には、既に大学から手続きについてお知らせをしていますので、それに従ってすみやかに手続きを行ってください。
・日本学生支援機構「給付」奨学金の採用候補者の方は授業料等減免の申請も忘れず行ってください。

2. 入学後に申請できる奨学金

入学後に申請できる奨学金は以下のとおりです。

学習院大学独自の奨学金

全員対象		●給付 教育ローン金利助成奨学金
学部	1年生	●給付 学習院大学新入学生特別給付奨学金
	全学年	●給付 学習院大学学費支援給付奨学金、学習院大学家計急変奨学金
	1～3年生（急変）	●給付 学習院父母会奨学金
院	博士後期課程	●給付 学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金
	全院生	●給付 学習院大学家計急変奨学金

国の奨学金

- 給付・貸与 日本学生支援機構奨学金（在学採用）

◇給付の奨学金（返還不要）

名称	対象				金額	期間	申請期	備考	掲載ページ	
	学部	博士前期	博士後期	法務研究科						
入学前	■学習院校友会ふるさと給付奨学金	一般入学試験受験予定者	校友会指定地域の高等学校出身者で所定の成績基準を満たす者 採用候補者数10名		年額 50万円	4年間	入学前1月下旬	継続審査あり	HP参照	
	■学習院大学入学前予約型給付奨学金「目白の杜奨学金」		大学指定地域の高等学校出身者で所定の成績基準・家計基準を満たす者 採用候補者数100名		年額 100万円	入学年度限り			HP参照	
	■学習院大学入学前予約型給付奨学金「さくら奨学金」	学習院高等科及び学習院女子高等科生	各2名		年額 25万円	入学年度限り	入学前2月頃			
入学後	①学習院大学新入学生特別給付奨学金	新入学生のみ			入学金相当額	入学年度限り	6月下旬		7	
	②学習院大学学費支援給付奨学金	○			学費第2期分	1年間	9月下旬		7	
	③学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金			○	年間授業料の3分の1相当額	1年間	5月下旬		8	
	④学習院大学教育ローン金利助成奨学金	○	○	○	○	年額上限5万円	1年間	1月中旬		8
	⑤学習院大学家計急変奨学金	○	○	○	○	年額 15万円	1年間	6月上旬 11月中旬	在学中1回のみ	8
	⑥学習院父母会奨学金	○				翌年度の授業料・施設設備費相当額	1年間	1月上旬	在学中1回のみ	9
	学習院大学学業優秀者給付奨学金	2年次以上	○			年額 学部10万円・大学院30万円	1年間	推薦制(申込不可)		9
	安倍能成記念教育基金奨学金	○	○	○		年額 45万円	1年間	推薦制(申込不可)		9
	学習院末松奨学金基金奨学金		○ 史学専攻のみ	○ 史学専攻のみ		年額 10万円	1年間	推薦制(申込不可)		9
	関育英資金奨学金		○ 自然科学研究科のみ	○ 自然科学研究科のみ		月額 3万円	1年間	推薦制(申込不可)		9
高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構「給付」奨学金	○				日本学生支援機構作成の冊子「給付奨学金案内」をご覧ください。	最短修業年限	春の採用4月上旬 秋の採用10月上旬	継続審査あり	10	

◇貸与の奨学金（卒業後に返還必要）

名称	対象	金額	期間	申請期	振込予定時期	掲載ページ
日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）	学部 大学院	それぞれ以下の月額から選択。 【学部】 自宅通学：月額2万・3万・4万・5万4千円 自宅外：月額2万・3万・4万・5万・6万4千円 【博士前期課程・法科大学院】 月額5万・8万8千円 【博士後期課程】 月額8万・12万2千円	最短修業年限	春の採用 4月上旬	春採用 6月以降	13 ～ 14
日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）	法科大学院	それぞれ以下の月額から選択。 【学部】 月額2万～12万円（1万円単位） 【大学院・法科大学院】 月額5万・8万・10万・13万・15万円 ※法科大学院生が15万円を選択した場合のみ、4万円又は7万円の増額貸与が可能		秋の採用 10月上旬	秋採用 12月以降	

◇民間団体・地方公共団体の奨学金

民間団体奨学金

例年4月～5月上旬にかけて、財団法人・社団法人・民間企業などの民間団体が奨学生を募集します。民間団体の奨学金は「推薦制」と「自由応募制」があります。「推薦制」の奨学金を希望する場合は、指定期日までに「事前登録票」の提出が必要です。「事前登録票」提出者のうち応募条件を満たしている学生と原則面接を行い、被推薦者を決定します。詳細は、学生課窓口にお問合せください。

地方公共団体奨学金

都道府県・市区町村から奨学生の募集があります。例年4月～5月上旬にかけて募集が集中しますが、ほとんどが貸与の奨学金で「自由応募制」です。募集があり次第、G-Portでお知らせします。

◇その他支援制度

外部金融機関の教育ローン金利優遇について

奨学金とは別に、本学の学費納付を目的とした融資を希望する学生のため、下記の金融機関と「教育ローン」の金利優遇措置の提携を行っています（令和7年3月現在）。相談や申請は各金融機関で行ってください。

- ①三井住友銀行 ②オリエントコーポレーション ③ジャックス
④三井住友カード（旧SMBCファイナンスサービス）

〈参考〉本院との金利優遇措置の提携はしていませんが、日本政策金融公庫、中央労働金庫は他の金融機関と比して金利は低く設定されています。

学習院身体障害者支援給付援助金

本学では、障害を持つ学生に対して、助成する制度があります。詳しい条件等については、学習院大学HP（「障がい者支援」のページ）を確認するか、学生課にお問合せください。

災害等の被災による学費支援措置

本学では、災害等の被災により学業の継続が難しいと認められる場合に対して、学費の減免等の支援措置制度を講じることがあります。詳細は学生課へお問い合わせください。

◇緊急・応急の奨学金

家計の急変など奨学金を緊急に必要とする場合のために奨学金制度があります。随時、相談を受け付けますので、必要に応じて学生課窓口へ相談してください。

◇留学希望者のための奨学金制度^(※)

【窓口：国際センター】

名称	対象	給付金額	人数	申請期	申請条件
学習院大学海外留学奨学金	学部 大学院 法科大学院	年間 40万円 以内	延べ 80名 程度	6月 及び 12月	本学学部又は大学院の正規課程に在籍する者で、留学願が承認されている者又は承認されることが見込まれる者
学習院大学海外短期研修奨学金	学部 大学院 法科大学院	7万円 以内	170名 程度	9月 及び 1月	本学学部又は大学院の正規課程に在籍する者で、夏季休業中・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
学習院大学北米への留学促進奨励金	学部 大学院 法科大学院	15万円 以内	20名 以内	9月 及び 2月	本学学部又は大学院の正規課程に在籍する者で、夏季・春季休業中に本奨励金が指定する国際センター主催の海外研修に参加する者
学習院大学語学能力試験受験の助成	学部 大学院 法科大学院	1.2万円 以内	80名 程度	4～1月	本学学部又は大学院の正規課程に在籍する者で、留学のための語学能力試験を受験する者
大学院学生の国外における研究発表援助	大学院 法科大学院	10万円 以内	20名 程度	4～1月	本学大学院の正規課程に在籍する者で、国外における学会等で、発表を行う者（ポスターセッションを含む）

※この情報は、令和7年3月1日時点での内容となりますので、詳細ならびに最新の情報は国際センター及びそれぞれの募集要項で確認してください。

・その他、公的機関や民間団体が設けている学外の奨学金もあります。募集情報が入り次第、G-Port等でお知らせします。
・日本学生支援機構（JASSO）により、貸与型の「第二種奨学金（短期留学）」（3ヶ月以上1年未満の留学をする者対象）、「第二種奨学金（海外）」（海外の大学院に進学する者対象）の奨学金が用意されています。以上2種類は、学生課までお問合せください。いずれも留学開始時期に合わせて申込み締切が設けられていますので、検討する場合は早めにご相談ください。

II 主な奨学金の概要

1. 給付の奨学金（返還不要）

① 学習院大学新入学生特別給付奨学金

対象者	学部の新1年生で学費支弁が困難な者
申請基準	学力基準 「全体の学習成績の状況」（従来の「評定平均値」）3.8以上 家計基準 → P.22～27 参照 ※ G-Port 上で申請基準を満たしているか判定できます（申請書入力期間のみ）
給付金額	入学金相当額
申請時期	6月下旬
申請方法	G-Port にて情報入力のうえ、申込書を提出 → P.32～36 参照
採用決定時期	7月下旬頃
振込予定時期	8月末頃
給付期間	入学年度限り
採用予定人数	45名程度
選考方法	有資格者の中から家計困窮度の高い人を採用します。必要により面接を行い、人物評価を加味します。
他の奨学金等との併用	「目白の杜奨学金」「学習院父母会奨学金」及び「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免との併用不可。
備考	本院の高等科、女子高等科から進学した者で、学習院各科学費支援給付奨学金（進学時に必要な学費及び入学金）の受給を受けた新入学生は申請できません。奨学金給付年度に奨学生が、懲戒又は除籍処分を受けた場合や、退学又は休学した場合は、資格を取り消し、奨学金を返還させることがあります。

② 学習院大学学費支援給付奨学金

対象者	学部生（留学生を除く）で、原則として最短修業年限（休学期間を除く）で卒業が見込まれる者
申請基準	学力基準 → P.21 参照 家計基準 → P.22～27 参照 ※ G-Port 上で申請基準を満たしているか判定できます（申請書入力期間のみ）
給付金額	在籍学部学科の第2期分授業料相当額
申請時期	9月下旬
申請方法	G-Port にて情報入力のうえ、申込書を提出 → P.32～36 参照
採用決定時期	11月中旬
振込予定時期	12月下旬頃（原則受領印の捺された第2期分学費振込依頼書の領収書の送付をもって、給付及び当該期の学費納入完了とします）
給付期間	1年間
採用予定人数	80名程度
選考方法	有資格者の中から家計困窮度の高い人を採用します。必要により面接を行い、人物評価を加味します。
他の奨学金等との併用	「学習院父母会奨学金」及び「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免との併用不可。※支援区分見直しによる停止は除く。
備考	毎年度申請することができます。申請時、必ず「第2期分納付金延納願」を提出してください。奨学金給付年度に奨学生が、懲戒又は除籍処分を受けた場合や、退学又は休学した場合は、資格を取り消し、奨学金を返還させることがあります。申請時期に留学をしている学生は、保証人による申請書類の提出も許可する場合があります。留学出発前に、必ず学生課窓口にご相談に来てください。

③ 学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金

対象者	博士後期課程に在籍する学生 ただし、本学の授業料の減免を受けている a～g は除く（a. 所定の単位を修得し3年を超えて在籍している者、b. 協定留学生、c. 外国留学を許可された者、d. 休学者、e. 委託生及び研究生、f. 交流学生、g. 国費留学生）。
申請基準	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①本人及び配偶者の収入金額合計が本学所定の収入金額以下であること ②学業成績が優秀かつ研究心に富む者
給付金額	年間授業料の3分の1相当分
申請時期	5月下旬
申請方法	対象者へ募集要項及び申込書を配付しますので、要項に基づき申請書類を提出してください。
採用決定時期	7月下旬頃
振込予定時期	10月末日（指定口座への振込）
給付期間	1年間
採用予定人数	対象資格のある者のうち、申請基準を満たしている申請者全員
他の奨学金との併用	可
備考	毎年度申請することができます。奨学金給付年度に奨学生が、懲戒又は除籍処分を受けた場合や、退学又は休学した場合は、資格を取り消し、奨学金を返還させることがあります。

④ 学習院大学教育ローン金利助成奨学金

「教育ローン」を扱っている金融機関より学費（授業料＋施設設備費）給付を目的として教育ローンを借り入れした場合、在学中に支払った金利の一部を申請により奨学金として給付する制度です。

対象者	①本学への学費納付を目的として借り入れた教育ローンの金利を当該年度に支払っている者 ②最短修業年限（休学期間を除く）に卒業又は修了が見込まれる者
給付金額	当該年度に支払った金利のうち、学費を上限とした借入金額に借入時金利を乗じた金額。複数件借り入れしている場合、借入年度ごとに学費を上限とした借入金額に借入金利を算出し、その合計金額。ただし、1年間の給付上限は5万円とします。
申請時期	1月中旬
採用決定時期	3月初旬頃
振込予定時期	3月末日（指定口座への振込）
給付期間	1年間
申込方法	12月上旬に募集要項及び申請書を配布しますので、要項に基づき申請書類を提出してください。
他の奨学金との併用	「学習院父母会奨学金」との併用不可。
備考	借入年度から最短修業年限までの金利を支払った期間、毎年度申請することができます。

⑤ 学習院大学家計急変奨学金

対象者	学部生・大学院生・法科大学院生（留学生・非正規生を除く）で修学の意欲があるにもかかわらず、家計の急変により学業の継続が困難な学生
申請基準	学力基準 標準修得単位数以上の単位を修得し、最短修業年限（休学期間を除く）で卒業が見込まれる者。 ※原級学生においては個別面談により事情を聴取し、個別事情を鑑みて申請を認める場合があります。 家計基準 世帯収入（生計維持者である父母の収入合計）が家計急変事由によって著しく減少し（半減以上）、大学が定める所得金額（P.22～27 参照）に該当していること。 家計急変事由 以下 A～F のいずれかの事由が申請日より6ヵ月以内に発生していること。 A：生計維持者の一方（又は両方）が死亡 B：生計維持者の一方（又は両方）が事故又は病気により、半年以上、就労が困難 C：生計維持者の一方（又は両方）が失職（非自発的失業） D：生計維持者が震災、火災、風水害等に被災し、生計維持者の一方（又は両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生 E：本人が父母等による暴力等から避難するために、「児童福祉法」または「売春防止法」の定める施設等へ入所することとなった F：父母の離婚
給付金額	年額 15万円
申請時期	年2回（春6月上旬・秋11月中旬） ※申請期間外においても、個別面談により事情を聴取し、申請の受付をする場合があります。
申請方法	G-Port にて情報入力のうえ、申込書を提出 → P.32～36 参照
採用決定時期	春7月下旬、秋12月中旬
振込予定時期	春8月下旬、秋1月下旬
給付期間	1年間（在学中1回限りの給付）
他の奨学金との併用	「学習院父母会奨学金」及び「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免との併用不可。
備考	奨学金給付年度に奨学生が、懲戒又は除籍処分を受けた場合や、退学又は休学した場合は、資格を取り消し、奨学金を返還させることがあります。

⑥ 学習院父母会奨学金

父母会から支給される奨学金です。審査は、書類及び面接によって行われます。

対象者	学校法人学習院の設置する学校（大学院及び法科大学院生を除く）に在学する学生で、在学中学費負担者である父母保証人の死亡等に起因し、家計が激変したことにより学費の支弁が困難と認められる者。原則として1家族1名。最短修業年限での卒業が見込まれない者へは給付しない。
給付金額	翌年度の授業料＋施設設備費相当額
募集時期	11月下旬～1月上旬
給付期間	学校法人学習院の設置する学校に在学中1年間限り
他の奨学金との併用	不可（ただし、学習院大学学業優秀者給付奨学金及び安倍能成記念教育基金奨学金並びに日本学生支援機構「貸与」・「給付」奨学金の受給は認める）
備考	奨学生が受給年度中に、退学した場合や、病気で成業の見込がなくなった場合、学業成績又は操行が著しく不良となった場合、その他奨学生として適当でないと認められた場合は、奨学金を返還させることがあります。

⑦ 推薦制の奨学金（応募不可）

学習院大学学業優秀者給付奨学金

本学学生の学業成績優秀者を表彰することを目的としています。

対象者	学部生（2年次以上の各学年・各学科より既定人数） 大学院生（博士前期課程）（各専攻より若干名）
選考方法	学部生は各学部長、大学院生は各研究科委員長からの推薦制
給付金額	学部生 10万円 大学院生 30万円
給付期間	1年間
備考	奨学金の給付期間に、学則により懲戒若しくは除籍の処分を受けた場合、又は退学若しくは死亡の場合には、資格を取消し、奨学金を返還させることがあります。

安倍能成記念教育基金奨学金

安倍能成記念教育基金は、故安倍能成元院長の功績を永く記念し、その精神を後世に伝え、もって我国学術及び教育の興隆に寄与する目的で設けられました。その目的を遂行するための一事業として「優秀学生に対する奨学事業」である「安倍能成記念教育基金奨学金」が設けられました。

対象者	学部生・大学院生（若干名）
選考方法	学部生は各学部長、大学院生は各研究科委員長からの推薦制
給付金額	45万円
備考	奨学生が、退学又は休学した場合、病気等で成業の見込がない場合、学業成績又は操行が著しく不良になった場合、その他奨学生として適当でないと認められた場合には、奨学金を返還させることがあります。

学習院末松奨学基金奨学金

選考方法	人文科学研究科史学専攻からの推薦制（1名）
給付金額	年額 10万円
給付期間	1年間
備考	奨学金の給付年度中に、学則により懲戒若しくは除籍の処分を受けた場合、又は退学若しくは死亡の場合には、資格を取消し、奨学金を返還させることがあります。

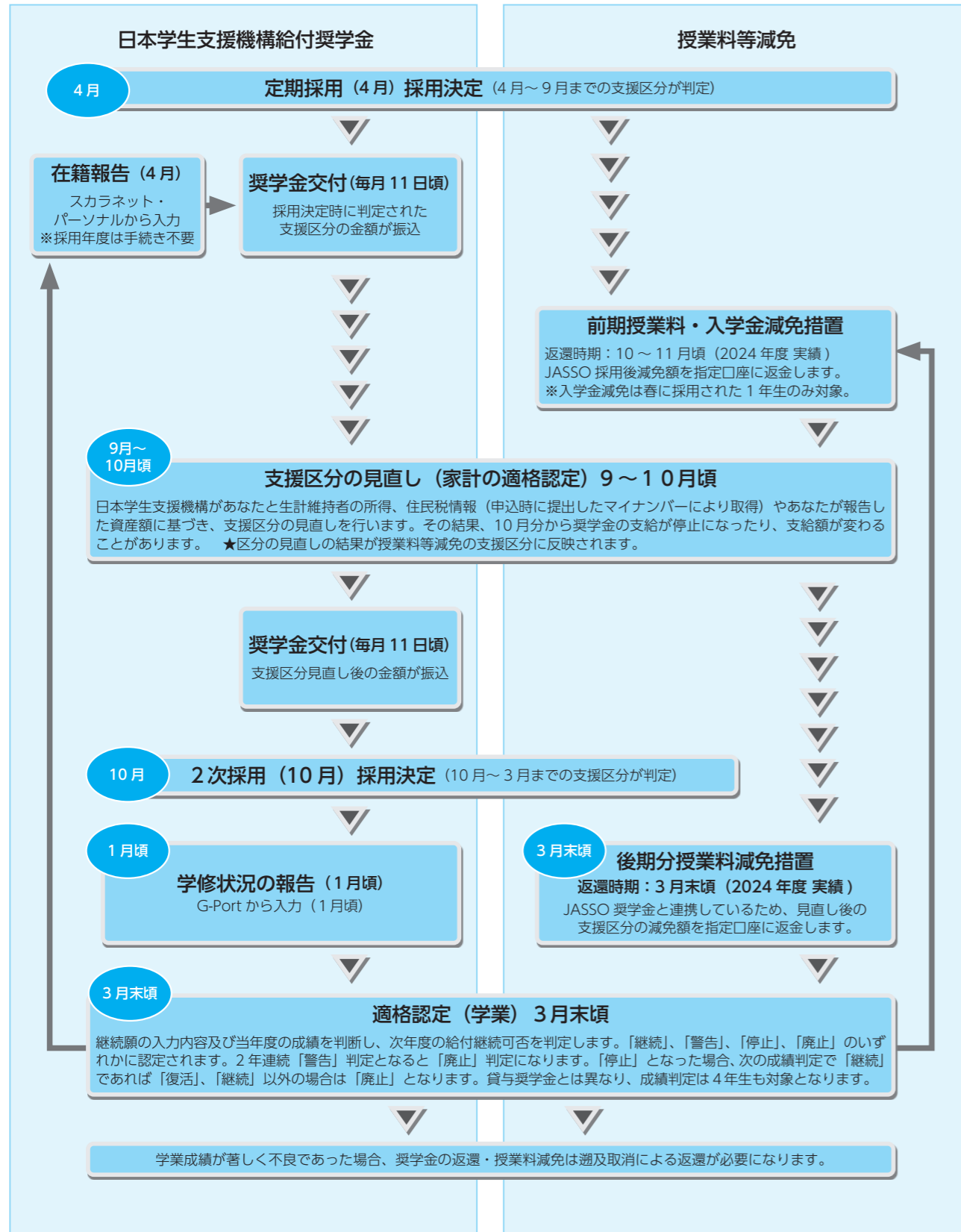
関育英資金奨学金

選考方法	自然科学研究科からの推薦制（1名）
給付金額	月額 3万円
給付期間	1年間

高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構「給付」奨学金

対象者	学部生
給付金額	日本学生支援機構作成の冊子「給付奨学金案内」をご覧ください。世帯の所得金額に基づく区分によって月額が定められます。
募集時期	春の在学採用 4月上旬 秋の在学採用 10月上旬
給付期間	最短修業年限
学力基準	<p>【1年生】 以下の1から4のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること 2. 入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲に属すること 3. 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること 4. 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること。 <p>【2年生以上】 2024年度までの学業成績が、次の1または2のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GPA（平均成績）等が在学する学部等における上位2分の1の範囲に属すること 2. 修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること (標準単位数＝卒業に必要な単位数/修業年限×申請者の在学年数) <p>※ただし、この基準に該当する場合であっても、適格認定における学業成績の基準において「廃止」に該当する場合は対象外（詳細は「給付奨学金案内」を参照）。</p>
収入基準・資産基準	日本学生支援機構作成の冊子「給付奨学金案内」又は、日本学生支援機構のホームページ（ https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html ）をご覧ください。
適格認定（学業）	<p>12月～2月頃、学修状況の報告の提出が必要です。申請内容（授業の出席状況や学修への取り組み）及び学年末の成績（修得単位数やGPA順位等）をもとに審査（適格認定）が行われます。審査によって「継続」、「警告」、「停止」、「廃止」のいずれかに認定され、4月からの給付に反映されます。</p> <p>適格認定（学業）の基準等は、日本学生支援機構HPを参照してください。（ホーム⇒奨学金⇒在学中の手続き⇒給付奨学金に関する在学中の手続き⇒適格認定（学業等））</p> <p>※2年連続で「警告」になると「廃止」となります。 ※「停止」となった場合、次の成績判定で「継続」であれば「復活」、「継続」以外の場合は「廃止」となります。 ※奨学金を返還する必要があるか確認をするため4年生も審査の対象となります。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等への入学時期等に関する資格、在留資格等に関する資格に条件があります。 ・第一種奨学金（無利子）と併用した場合、併給調整が行われ、第一種奨学金の月額が0円または減額されます。 ・毎年10月に学生本人及び生計維持者の経済状況についてマイナンバーで確認し、「適格認定（家計）」支援区分の見直しが行われます。判定の結果、支援区分の変更・支援の対象外（停止）となります。

高等教育の修学支援新制度 採用から給付終了までの流れ



学習院大学独自奨学金と他の奨学金 (「高等教育の修学支援新制度」含む) の併用可否一覧

奨学金名称	[高等教育の修学支援新制度]	学習院大学独自の奨学金									
		学部生対象								推薦制	応募不可
		入学前申請				入学後申請					
		学習院大学入学前予約型給付奨学金 [目白の杜奨学金]	学習院大学校友会ふるさと給付奨学金	学習院大学新入学生特別給付奨学金	学習院大学学費支援給付奨学金	学習院大学教育ローン金利助成奨学金	学習院大学家計急変奨学金	学習院大学父母会奨学金	学習院大学学業優秀者給付奨学金	安倍能成記念教育基金奨学金	
[高等教育の修学支援新制度]		○	○	×	※支援区分見直しによる停止は除く	○	×	○	○	○	
学習院大学独自の奨学金	入学前申請	学習院大学入学前予約型給付奨学金 [目白の杜奨学金]	○	×	×	○	○	○	×	○	○
		学習院大学校友会ふるさと給付奨学金	○	×		○	○	○	×	○	○
	入学後申請	学習院大学新入学生特別給付奨学金	×	×	○		○	○	×	○	○
		学習院大学学費支援給付奨学金	×	○	○	○		○	×	○	○
		学習院大学教育ローン金利助成奨学金	○	○	○	○		○	×	○	○
		学習院大学家計急変奨学金	×	○	○	○	○		×	○	○
		学習院大学父母会奨学金	○	×	×	×	×	×		○	○
	推薦制 応募不可	学習院大学学業優秀者給付奨学金	○	○	○	○	○	○	○		○
		安倍能成記念教育基金奨学金	○	○	○	○	○	○	○	○	

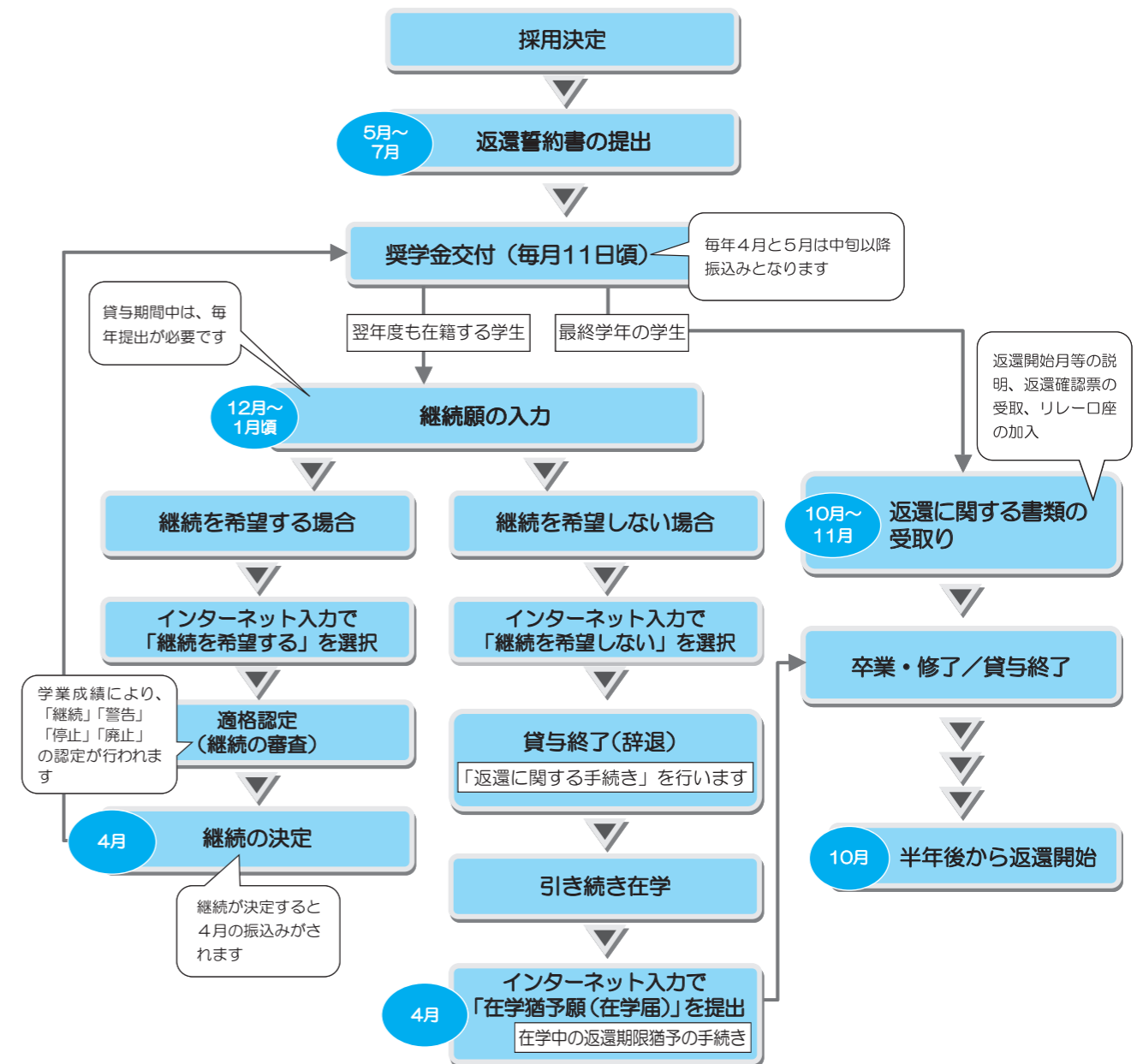
※大学院生・法科大学院生対象の学内奨学金は他の学内奨学金との併用全て可。

2. 貸与の奨学金（卒業後に返還必要）

①日本学生支援機構「貸与」奨学金

奨学金の種類	第一種奨学金【無利子】	第二種奨学金【有利子】	入学時特別増額貸与奨学金
学部	自宅通学：月額2万・3万・4万・5万4千円 自宅外：月額2万・3万・4万・5万・6万4千円	月額2万～12万円（1万円単位）から選択	入学年次のみ入学時特別増額貸与（10万・20万・30万・40万・50万円）を一時金として借用することができます。なお、入学時特別増額貸与のみを借用することはできません。また、入学時特別増額貸与奨学金を希望する者については、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」にあらかじめ申込みをし、審査結果を受領してください。
博士前期課程 法科大学院	5万・8万8千円	5万・8万・10万・13万・15万円 ※法科大学院生が15万円を選択した場合のみ追加で4万円・7万円の増額貸与を受けることができます。	
博士後期課程	8万・12万2千円		
貸与方法	月々、学生本人口座に振込		
募集時期	4月上旬、10月上旬		
振込予定時期	6月以降 ※初回振込は4月分からまとめて振込み	6月以降 ※初回振込は4月分からまとめて振込み	第一種奨学金・第二種奨学金の初回振込時
貸与期間	入学から卒業予定期まで		振込みは1回
貸与始期	4月～9月の間で希望する月	4月～9月の間で希望する月	
対象者	学部・大学院・法科大学院		
学力基準	→ P.21 参照（学部生）		
家計基準	日本学生支援機構作成の冊子「奨学金を希望する皆さんへ」又は、日本学生支援機構のホームページ（ http://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html ）をご覧ください。		
保証制度	保証制度には、人的保証と機関保証の2つの制度があり、受給者が選択します。		
		人的保証	機関保証
	概要	保証人については65歳以上の人は避けてください。なお、貸与終了時に奨学金本人が満45歳を超える場合は、連帯保証人及び保証人は60歳未満の人を選任しなければいけません。	月々の保証料を支払うこと（貸与月額より天引き）で連帯保証人及び保証人が必要のない制度です。
メリット	奨学金を満額借用できます。	各種手続きや返還を本人のみで行うことができます。	
デメリット	各種手続きに連帯保証人・保証人の署名捺印等が必要です。本人が返還しない場合に返還の責任を負うことになります。	奨学金月額から機関保証料を支払わなくてはなりません。	
※保証制度を選択する際は、保証人の方と相談の上で決定してください。人的保証を選択するときは、事前に連帯保証人・保証人の承諾を得ておくようにしてください。保証制度の変更及び一度選択した連帯保証人・保証人を他の人に変更することは原則できません。			
返還方法	卒業後、指定口座から引き落としで返還します。		
利息	無利息	年利3%を上限とする利息（在学中は無利息）	
他の奨学金との同時受給	日本学生支援機構では、原則として他団体奨学金との重複貸与の規制はしていません。ただし、他の奨学金の中には日本学生支援機構奨学金との重複貸与を認めないものもあります。		

採用から貸与終了までの流れ



選考にあたっては、「人物」・「学力」・「家計」の3つの基準を総合的に判断します。休学・留学等の異動や、貸与月額の変更、貸与の辞退を希望する場合は、所定の願出による手続きが必要です。速やかに学生課に相談してください。

継続願…次年度も奨学金を継続するための手続きです。インターネット入力により行います。入力内容を基に学校は**適格認定**を行います。

適格認定…継続願の入力内容及び当年度の成績を判断し、次年度の貸与継続可否を判定する作業です。成績等により奨学金が廃止や停止となる場合があります。

返還確認票…最終的な借用金額・保証制度・返還方法の確認書類です。

返還開始月…借用終了月の翌月から数えて7ヵ月後から返還開始です。

リレー口座…返還用口座です。口座から引き落とすことで返還します。

Ⅲ 主な奨学金採用までのスケジュール

1. 奨学金新規募集説明会日程表

対象	開催日時		場所
全学部生	4月10日(木)	9:30～11:00	学習院創立百周年記念会館
大学院生・法科大学院生	4月10日(木)	16:00～17:00	

2. 主な学内奨学金（申請から採用まで）〈学部生〉

【給付の奨学金】 学習院大学新入学生特別給付奨学金・学習院大学学費支援給付奨学金

内容	新入学生特別給付奨学金	学費支援給付奨学金
奨学金新規募集説明会	開催日:4月10日(木)	
G-Port 入力 (インターネットによる 申込書作成・印刷)	申請期間:6月下旬	申請期間:9月下旬
書類の提出	提出期限:6月下旬 <提出書類> ● 2025年度学内奨学金申請書 (G-Portより両面印刷) ● 父母の「課税証明書」または「(非)課税証明書」 (直近の年度のもの) ● 特別控除の証明書類(該当者のみ)	提出期限:9月下旬 <提出書類> ● 2025年度学内奨学金申請書 (G-Portより両面印刷) ● 父母の「課税証明書」または「(非)課税証明書」 (直近の年度のもの) ● 特別控除の証明書類(該当者のみ) ● 第2期分納付金延納願 ※高等教育修学支援新制度による授業料減免制度との併用不可(併願可)。
採用結果通知	<日程>7月下旬	<日程>11月中旬
振込時期	<日程>8月末頃	<日程>12月末頃

申請者は、期限を厳守すること。期限を過ぎての申請は、理由を問わず一切認めません。

3. 高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金及び授業料等減免） 日本学生支援機構貸与奨学金

①申請の際の注意

高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金及び授業料等減免）と日本学生支援機構貸与奨学金は、1年間のうち、定期採用（4月）と2次採用の2回申請時期があります。

▲注意！ 高等教育修学支援新制度 定期採用（4月）と2次採用（10月）は何が違うの？

(1) 支援開始年月が異なります。

定期採用（4月）に申請した場合

給付奨学金：申請年度の4月から

授業料等減免：申請年度の4月から（第1期分授業料から）減免されます。（10月の支援区分見直しにより第2期分授業料減免額が変更または停止となる場合があります。）

新1年生の場合は入学金も対象となります。

2次採用（10月）に申請した場合

給付奨学金：申請年度の10月から

授業料等減免：申請年度の10月から（＝申請年度の第2期分授業料から）減免されます。

(2) 家計審査の対象年度が異なります。

定期採用（4月）の場合：2023年（1月1日～12月31日）の収入に基づく2024年度住民税情報より判定。

2次採用（10月）の場合：2024年（1月1日～12月31日）の収入に基づく2025年度住民税情報より判定。

世帯の収入状況を確認した上で申し込みましょう。

▲注意！ 高等教育修学支援新制度と併せて貸与奨学金を借りたいけど、併用できるの？

併用できますが、第一種奨学金と併用した場合、第一種奨学金の月額が併給調整により、減額または0円になります。

<参考> 給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額（2024年度時点）

支援区分	自宅	自宅外
第Ⅰ区分	0円	0円
第Ⅱ区分	0円	0円
第Ⅲ区分	21,700円(20,000円、30,300円)	19,200円
第Ⅳ区分 (多子)	29,800円 (20,000円、38,700円)	20,000円、30,400円
第Ⅳ区分 (理工農)	20,000円、34,500円 (20,000円、30,000円、44,500円)	20,000円、30,000円、44,500円

※第二種奨学金は併用ができ、それによる金額調整はありません。

高等教育修学支援新制度は支援区分の見直しで区分の変更による支援額の「減額」または「停止」になることがありますので、安定的な学費の工面を考えているのであれば、第二種奨学金の申請も検討してください。

②高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金及び授業料等減免）・日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金定期採用（4月）申請から採用まで

手続き	日程	内容
①奨学金新規募集説明会	4月10日(木) 学部・院	申請書類及びスカラネット入力のためのID・パスワード配付。
②スカラネット入力 (インターネットでの申込)		JASSOのHP「スカラネット」より申請内容を入力してください。
③書類の提出	申請書類受取後 ～ 4月下旬	<p>以下書類を提出 2025年度の提出書類については、4月10日に開催する奨学金新規募集説明会で説明します。以下、2024年度の提出書類です。</p> <p>< JASSO 貸与（学部） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・生計維持者の収入に関する証明書類 [該当者のみ] ・特別控除の証明書類 [該当者のみ] ・マイナンバーが提出できない場合の証明書類 [該当者のみ] <p>< JASSO 貸与（大学院・法科大学院） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・収入計算書 [全員]（記入内容に関する証明書類を添付） ・指導教員推薦所見 [2年生以上]（学生⇒教員へ依頼⇒教員から学生課へ提出） <p>< JASSO 給付 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・学修計画書 [全員] ※ボールペンで記入。文章は書式内に収めること。 ・在留資格記載の証明書 [該当者のみ] ・児童養護施設入所等の証明書 [該当者のみ] ・マイナンバーが提出できない場合の証明書類 [該当者のみ]
④奨学金確認書 兼 地方税 同意書の提出	別途案内予定	
⑤採用結果通知	6月上旬	G-Portにてお知らせします。
⑥初回振込	6月中旬	貸与（給付）始期～6月分の奨学金が振り込まれます。
⑦採用者関連書類の交付	未定	郵送または説明会での交付
⑧「返還誓約書」提出 ※貸与奨学生のみ	未定	「返還誓約書」は奨学金を借りる上での契約書に相当する大事な書類です。期日まで提出をしないと奨学金の振込が止まります。

③高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金及び授業料等減免）・日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金2次採用（10月）申請から採用まで

手続き	日程	内容
①スカラネット入力 (インターネットでの申込)		JASSOのHP「スカラネット」より申請内容を入力してください。
②書類の提出	申請書類受取後 ～ 10月下旬	<p>以下書類を提出 2025年度の提出書類については、4月10日に開催する奨学金新規募集説明会で説明します。以下、2024年度の提出書類です。</p> <p>< JASSO 貸与（学部） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・生計維持者の収入に関する証明書類 [該当者のみ] ・特別控除の証明書類 [該当者のみ] ・マイナンバーが提出できない場合の証明書類 [該当者のみ] <p>< JASSO 貸与（大学院・法科大学院） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・収入計算書 [全員]（記入内容に関する証明書類を添付） ・指導教員推薦所見 [全員]（学生⇒教員へ依頼⇒教員から学生課へ提出） <p>< JASSO 給付 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認書兼同意書 [全員] ・スカラネット入力下書き用紙 [全員] ・学修計画書 [全員] ※ボールペンで記入。文章は書式内に収めること。 ・在留資格記載の証明書 [該当者のみ] ・児童養護施設入所等の証明書 [該当者のみ] ・マイナンバーが提出できない場合の証明書類 [該当者のみ]
③奨学金確認書 兼 地方税 同意書の提出	別途案内予定	
④採用結果通知	12月上旬	G-Portにてお知らせします。
⑤初回振込	12月中旬	貸与（給付）始期～12月分の奨学金が振り込まれます。
⑥採用者関連書類の交付	未定	郵送または説明会での交付
⑦「返還誓約書」提出 ※貸与奨学生のみ	未定	「返還誓約書」は奨学金を借りる上での契約書に相当する大事な書類です。期日まで提出をしないと奨学金の振込が止まります。

IV 申請基準 (人物・学力基準・家計基準)

1. 学部生

選考にあたっては、「人物」・「学力」・「家計」の3つの基準を総合的に判断します。

①人物

奨学金は学修状況その他学生生活全般を通じて、態度・行動が学生にふさわしく、将来、良識のある社会人として活躍が期待できる者でなければなりません。これは、奨学金申請期間を守ることや、面接等により判断します。面接は必要な者のみ行います。

②学力基準

学力について基準が設けられている奨学金については、下記の学力及び修得単位数が必要です。

学力基準一覧表

種類	年次	学力	修得単位数 ^{※1}	
日本学生支援機構奨学金	第一種奨学金 (貸与)	1	日本学生支援機構作成の冊子「貸与奨学金案内」をご覧ください。	30 単位以上
		2		60 単位以上
		3		90 単位以上
		4		
	第二種奨学金 (貸与)	1	大学で学修意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある。大検合格者は上記に準ずる。	30 単位以上
		2		60 単位以上
		3		90 単位以上
		4		
	給付奨学金 ^{※2}	1	以下の1から4のいずれかに該当する者。 1. 高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること 2. 入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲に属すること 3. 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること 4. 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること	
		2	以下の1または2のいずれかに該当する者。 1. GPA (平均成績) 等が在学する学部等における上位2分の1の範囲に属すること 2. 修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること (標準修得単位数=卒業に必要な単位数/修業年限×申請者の在学年数)	30 単位以上
		3		60 単位以上
		4		90 単位以上
学習院大学奨学金 (貸与)	2	修得単位数による。	30 単位以上	
	3		60 単位以上	
	4		90 単位以上	
学習院大学新入学生特別給付奨学金	1	「全体の学習成績の状況」(従来の「評定平均値」) 3.8 以上		
学習院大学学費支援給付奨学金	1	成績は問わない		
	2	GPA2.5 以上	30 単位以上	
	3		60 単位以上	
	4		90 単位以上	

※1 学科により1～8単位異なります。(卒業必要単位数÷4×在学年数=必要な修得単位数)

例：卒業必要単位数 130 単位 ÷ 4 × 在学年数 2 年 (現 3 年生) = 65 単位必要
資格 (教職・学芸員) 取得・随意科目は修得単位数に含みません。

※2 適格認定 (学業成績等) の基準において「廃止」に該当する場合は基準外。(詳細は「給付奨学金」参照。)

●学力基準の自己判定 (平成 27 年度以前入学者)

合計 (② + ③ + ④*) ÷ 前年度までの修得単位数 (資格取得・随意科目は除く)

●学力基準の自己判定 (平成 28 年度以降入学者)

合計 (① + ② + ③ + ④*) ÷ (前年度までの修得単位数 + 不可科目単位数)

(資格取得・随意科目は除く。今年度修得単位数は含みません)。

平成 28 年度以降入学者は、ご自身の GPA を G-Port の成績照会画面で確認ができます。

*① = 秀の単位数 × 4、② = 優の単位数 × 3、③ = 良の単位数 × 2、④ = 可の単位数 × 1

③家計基準

家計支持者 (父母。父母がいない場合は代わって家計を支えている人) の年収・所得金額から控除額 (家族構成、家庭事情等により異なる) を差し引いた金額 (認定所得金額) が、収入基準額以下であることが必要です。

総収入金額《A》 - 控除額《B》 = 認定所得金額《C》

《A》 税込み・家計支持者 2 名分

《B》 一般控除、就学控除、特別控除があります

※総収入金額《A》とは、家計支持者 2 名分の前年の税込総収入金額で、給与所得者は「課税証明書」、給与所得以外の方は「確定申告書」(税務署の受付印のあるもの) 等に記載されている金額です。

※日本学生支援機構「給付」奨学金の家計基準 (計算方法等) は、複雑なため、詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。(web 上システムにて基準を満たすか、また支援区分の仮判定を確認いただけます)。

※家計支持者 2 名分とは

① 父母がいる場合	父母
② 一人親の場合 (両親が離婚している場合を含む)	父又は母 (本人と生計をともにしている人)
③ 父母が両方ともいない場合	父母に代わって家計を支えている人 (2 人いれば 2 人)

収入基準額表

世帯人数	日本学生支援機構 第一種奨学金(貸与) 及び 第二種奨学金(貸与)	日本学生支援機構 第一種・第二種(貸与) 併用	学習院大学学費 支援給付奨学金	学習院大学 新入学生特別給付 奨学金	学習院大学 家計急変 奨学金	
1 人	日本学生支援機構発行パンフレット 「貸与奨学金案内」 「貸与奨学金の選考基準」のうち 「家計基準」のページを 参照してください。			94		
2 人						148
3 人						171
4 人						186
5 人						201
6 人						212
7 人						220
8 人以上は 1 人増 すごとに右の金額 を減算						8

⇒認定所得金額の算出方法 P.23 ~ 27 参照

学内奨学金 (学習院大学新入学生特別給付奨学金・学習院大学学費支援給付奨学金・学習院大学家計急変奨学金は、必要項目を入力することで、G-Port 上で申請基準を満たしているか判定できます (申請書入力期間のみ)。

⇒収入に関する証明書 (申請必要書類) P.30 参照

認定所得金額の算出方法

P.29「家計基準の自己判定シート」を使用して家計基準判定を行ってください。

① 給与所得の場合

主に家計を支えている人2名分（原則父及び母）の収入状況を記入してください。主に家計を支えている人2名分の収入証明書が必要です。

所得の種類は、「給与所得」・「個人経営」・「農林水産業」・「自由業」・「その他」・「無職」から選択。年金・失業給付金等は給与所得とみなします。

● 学部生の認定所得金額

				(単位:万円)		
続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	A 収入・売上金額	B 控除額(給与所得) 事業所得者の経費	C 所得金額
父	学習院太郎	55	給与	569	345	224
母	花子	50	給与(パート)	200	78	122
祖母	月子	83				
↑同一人で2種類以上の所得がある場合は、それぞれに記入する。【①～⑤の計】				所得金額合計		346
続柄	氏名	設置者	就学者控除	通学別	控除額	
本人	一郎	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学	自宅・自宅外	37	
妹	雪子	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学	自宅・自宅外	39	

控除額は <b表>参照 (年間給与収入金額の少ない方) P.27

○ 給与所得金額(給与所得金額早見表) <a表> (年間給与収入金額の多い方) P.26参照

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額
1	0	314	277	37	363	287	76	412	298	114	461	312	149	510	327	183	559
268	288	0	317	277	40	366	287	79	415	299	116	464	313	513	328	185	562
269	289	1	318	278	40	367	287	80	416	299	117	465	314	514	328	186	563
270	290	2	319	278	41	368	288	80	417	299	118	466	314	515	329	186	564
271	291	3	320	278	42	369	288	81	418	299	119	467	314	516	329	187	565
272	292	4	321	278	42	370	288	82	419	300	119	468	314	517	329	188	566
273	293	4	322	278	44	371	288	83	420	300	120	469	315	518	329	189	567
274	294	5	323	279	44	372	288	84	421	300	121	470	315	519	330	189	568
275	295	6	324	279	45	373	289	84	422	301	121	471	315	520	330	190	569
276	296	7	325	279	46	374	289	85	423	301	122	472	316	521	330	191	570

○ 本人の就学者控除 単位:万円

大学	私立	自宅通学	自宅外通学
		37	84

○ 就学者控除(本人を除く・就学者一人につき) 単位:万円

小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	大学	専修学校高等課程	専修学校専門課程
31	46	国公立 39 私立 88	1~3年次 39 4・5年次 43	国公立 74 私立 133	国公立 39 私立 88	国公立 36 私立 102
		自宅通学 69 自宅外通学 118				

特別区民税・都民税 課税証明書

住所 ○○区○○○1番1号
氏名 学習院太郎

相当年度	令和7年度(令和6年分)	課税控除額	課税
所得	(収入金額) 5,000,000円	医療費控除額 *****円	区民税
	所得金額 *****円	社会保険料控除額 *****円	市県民税
所得	(収入金額) 0円	小規模企業共済等控除額 *****円	住民税
	所得金額 0円	生命保険料控除額 *****円	都民税
所得	分離共済一般 *****円	地震保険料控除額 *****円	都民税
	*****円	配偶者控除額 *****円	年
	*****円	配偶者特別控除額 *****円	課
	*****円	扶養控除額 *****円	税
	*****円	扶上児童者控除額 *****円	率
	*****円	本人該当控除額 *****円	額
	*****円	基礎控除額 *****円	率
	*****円	*****円	額
	*****円	*****円	率
合計	所得金額 *****円	所得控除額合計 *****円	課税

○ 給与所得金額(給与所得金額早見表) <b表> (年間給与収入金額の少ない方) P.27参照

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額
1	0	112	65	47	161	65	96	210	81	129	259	96	163	308	110	198	357
65	0	113	65	48	162	65	97	211	81	130	260	96	164	309	111	198	358
66	65	115	65	50	164	66	98	213	82	131	262	97	165	311	111	200	360
67	65	116	65	51	165	66	99	214	82	132	263	97	166	312	112	200	361
68	65	117	65	52	166	66	100	215	83	132	264	97	167	313	112	201	362
69	65	118	65	53	167	67	100	216	83	133	265	98	167	314	112	202	363
70	65	119	65	54	168	67	101	217	83	133	265	98	167	314	112	202	364

特別な控除がある場合は、それを証明する書類が必要になります。(P.30~31参照)

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額
96	65	31	149	65	81	195	77	118	244	91	152	292	106	186	341	120	221
97	65	32	146	65	81	195	77	118	244	91	153	293	106	187	342	121	221
98	65	33	147	65	82	196	77	119	245	92	153	294	106	188	343	121	222
99	65	34	148	65	83	197	77	120	246	92	154	295	107	188	344	121	223
100	65	35	149	65	84	198	77	121	247	92	155	296	107	189	345	122	223
101	65	36	150	65	85	199	78	121	248	92	156	297	107	190	346	122	224
102	65	37	151	65	86	200	78	122	249	93	156	298	107	191	347	122	225
103	65	38	152	65	87	201	78	123	250	93	157	299	108	191	348	122	226
104	65	39	153	65	88	202	79	123	251	93	158	300	108	192	349	123	226
105	65	40	154	65	89	203	79	124	252	94	158	301	108	193	350	123	227

所得から差引かれる金額	金額	控除額
ア. 本人の年間授業料(奨学金の手引 P.24参照)	⑪	68
イ. 子供が3人以上の世帯 控除額: <本人の就学者控除+年間授業料+50万円>×<子供人数-2>	⑫	0
ウ. 母子・父子世帯(99万円)	⑬	0
エ. 障害のある人及び要介護認定者がいる世帯 ____名(1名につき99万円)	⑭	0
オ. 主に家計を支えている者が別居している世帯 別居による、住居費等の実費(71万円が上限)	⑮	0
カ. 長期療養者(6ヵ月以上)のいる世帯 療養のために必要な1年間の支出金額実費	⑯	0
キ. 震災、風水害、火災等災害又は盗難などの被害世帯(前年から申込み時までの被害 支出増・収入減金額)	⑰	0
⑰~⑱の計 控除額合計	⑱	143
認定所得金額(⑥-⑱)	⑲	202

認定所得金額が各奨学金の世帯人数に応じた収入基準額以下であれば申請可となります。

○ 年間授業料及び研究実験費一覧 単位:万円

入 学 年 度	平成20~令和3年度	令和4~5年度	令和6~7年度
法 学 部	6.9	6.6	6.8
経 済 学 部			
哲学科			
史学科			
日本語日本文学科	7.7	7.3	7.5
英語英米文化学科			
ドイツ語圏文化学科			
フランス語圏文化学科			
心理学科	8.0	7.6	7.8
教育学科			
理 学 部			
物理学科	11.6	11.3	11.7
化学科			
数学科	10.8	10.5	10.9
生命科学科	11.6	11.3	11.7
国際社会科学部	9.1	8.9	9.2

○ 収入基準額表 単位:万円

世帯人数	日本学生支援機構 第一種奨学金(貸与) 及び 第二種奨学金(貸与)	日本学生支援機構 第一種・第二種(貸与) 併用	学習院大学学費 支援給付奨学金	学習院大学 新入学生特別給付 奨学金	学習院大学 家計急変 奨学金
1人	9.4				
2人	14.8				
3人	17.1				
4人	18.6				
5人	20.1				
6人	21.2				
7人	22.0				
8人以上は1人増すごとに右の金額を減算	8				

※令和4年度以降入学者の授業料は在籍料を除く。

② 給与所得以外の場合

確定申告書に給与所得とそれ以外の所得がある場合は、給与所得とそれ以外の所得の合算額が認定されます。

● 学部生の認定所得金額

(単位：万円)

続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	A 収入・売上金額		B 控除額(給与所得) 事業所得者の控除		C 所得金額	
父 (収入の多い方)	奨学 一郎	57	個人経営	777				148	
			その他(不動産)	120				12	
			給与	200	200			0	
母 (収入の少ない方)	奨学 和子	55	給与	80	65			15	
↑同一人で2種類以上の所得がある場合は、それぞれに記入する。【①～⑤の計】								所得金額合計	175

2024年分の所得税の確定申告書B

住所 山梨県 甲府市 2-3 氏名 奨学 一郎

職業 家具販売 奨学家具店 奨学一郎 本人

収入金額等欄

- 給与 7,774,084
- 不動産所得 1,200,000
- 配当所得 2,000,000
- 事業所得 1,484,318
- 不動産所得 1,200,000

合計 16,043,188

事業専従者に関する事項

氏名 奨学和子 妻 家具販売 毎日長時間 程度従事 800,000

事業・不動産所得がマイナスの場合「0円」として扱ってください。

○ 給与所得金額早見表<a表> (年間給与と収入金額の多い方) P.26参照

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額
1	0	112	65	47	161	65	96	210	81	129	112	65	47	161
...
80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141	80	65	15

○ 給与所得金額早見表<b表> (年間給与と収入金額の少ない方) P.27参照

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額
1	0	112	65	47	161	65	96	210	81	129	112	65	47	161
...
80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141	80	65	15

給与は給与所得金額早見表<a表><b表>で、控除額と所得金額が決まる。

[資料]

○ 給与所得金額早見表<a表> (主たる家計支持者のうち年間給与と収入金額の多い方)

(単位：万円)

収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額	収入金額	控除額	所得金額												
1	0	112	65	47	161	65	96	210	81	129	112	65	47	161	65	96	210	81	129	112	65	47	161	65	96	210	81	129	112	65	47	161	65	96	210	81	129										
...									
80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141	80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141	80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141	80	65	15	29	65	64	178	71	107	227	86	141

控除額の計算式

- ① 収入金額が268万円未満……………収入金額と同額とする
- ② 収入金額が268万円～400万円……………収入金額×0.2+214万円
- ③ 収入金額が401万円～781万円……………収入金額×0.3+174万円
- ④ 収入金額が782万円超……………408万円

注意

(1) 万円未満については、収入金額は切り捨て、控除額は四捨五入とする。

(2) 2つ以上の収入源があって、いずれも給与所得の場合は、収入金額を合計したあと、万円未満を切り捨てて控除額を算出する。

申請基準

申請基準

3. 家計基準の自己判定シート

●学部生の認定所得金額

(単位：万円)

同一家計の家族	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	A 収入・売上金額	B 控除額 (給与所得・事業所得者の経費)	C 所得金額
		(収入の多い方)						
(収入の少ない方)								②
								③
								④
								⑤
↑同一人で2種類以上の所得がある場合は、それぞれに記入する。【①～⑤の計】所得金額合計								⑥
就学者	続柄	氏名	設置者	就学者控除		通学別	控除額	
	本人		国公立・ 私立	小・中・高・高専・専修 (高等・専門)	大学	自宅・自宅外	⑦	
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修 (高等・専門)・大学		自宅・自宅外	⑧	
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修 (高等・専門)・大学		自宅・自宅外	⑨	
所得から差引かれる金額	ア. 本人の年間授業料 (奨学金の手引 P.24参照)							⑩
	イ. 子供が3人以上の世帯 控除額：＜本人の就学者控除+年間授業料+50万円＞×＜子供人数-2＞							⑪
	ウ. 母子・父子世帯 (99万円)							⑫
	エ. 障害のある人及び要介護認定者がいる世帯 ____ 名 (1名につき99万円)							⑬
	オ. 主に家計を支えている者が別居している世帯 別居による、住居費等の実費 (71万円が上限)							⑭
	カ. 長期療養者 (6ヵ月以上) のいる世帯 療養のために必要な1年間の支出金額実費							⑮
	キ. 震災、風水害、火災等災害又は盗難などの被害世帯 (前年から申込み時までの被害 支出増・収入減金額)							⑯
【⑦～⑯の計】控除額合計							⑰	
認定所得金額 (⑥-⑰)							⑱	

⑱の認定所得金額がP.22の収入基準額表以下であれば申請可

●大学院生・法科大学院生の認定所得金額

収入	区分	勤務先	職業	2024年収入金額 (単位：万円)	2025年収入見込金額 (単位：万円)	1週間の就労時間
本人	定職収入					
	アルバイト収入					週 時間
						週 時間
						週 時間
	父母からの給付額					
	奨学金 (現在申込中のものは除く)					
	その他の収入 (内容：)					
	収入合計 (A)					
配偶者 (定職収入のみ)	定職収入	勤務先：	職業：			
	控除額※ P.26 給与所得金額早見表 (a表) を確認のうえ計算し記入すること					
収入額 - 控除額 (B)						
認定所得金額 (A) + (B)						

(A) + (B) の認定所得金額がP.28の収入基準額表以下であれば申請可

V

学内奨学金申請に必要な書類 (学費支援給付奨学金・新入学生特別給付奨学金・家計急変奨学金・博士後期課程給付奨学金)

1. 収入に関する証明書 (2024年1月～12月分・コピー可) (学内奨学金)

①学部生

父母両方 (父母ともにいない場合には父母に代わって家計を支えている者) について、提出が必要です。

家計支持者 (父母両方) の市区町村の役場が発行する「課税証明書」または「(非) 課税証明書」を提出してください。

※ 2024年1月～12月分を提出すること・写し可

②大学院生、法科大学院生

学生本人及び配偶者について、「課税証明書」または「(非) 課税証明書」を提出してください。

2. 控除に関する証明書 (学部生のみ)

母子・父子世帯 [コピー可] [発行元] 市区町村役所

母子・父子世帯は99万円を控除します。

【提出が必要な書類】

発行から3ヶ月以内、世帯全員分の住民票 (個人番号の記載のないもの)

障がい者がいる場合 [コピー可]

同一生計内の家族に障がい者がいる場合、障がい者一人につき99万円を控除します。

障がいの種類に応じ、以下の書類を提出してください。

【提出が必要な書類】

- 要介護2～5級の介護認定者がいる場合：介護保険被保険者証等、要介護認定書類のコピー
- ※要支援者と要介護1級は特別控除されません。
- 心身障がい者がいる場合：身体障がい者手帳、療育手帳 (愛の手帳・みどりの手帳等) のコピー
- 原爆被爆者がいる場合：被爆者手帳のコピー

家計支持者が単身赴任で別居の場合 [コピー可]

主たる家計支持者が単身赴任で家族と別居していることにより、特別に支出している住居費等が控除対象となり、71万円を上限に控除します。学生本人分は対象ではありません。

住居費 (本人負担分のみ)、水道光熱費、家具・家事用品の実費に限り、領収書を提出することにより控除します。1万円未満の端数は切り上げてください。なお、通帳のコピーのみでは領収書と認められません。領収書の代わりとして通帳を提出する際は、その請求書・契約書も併せて提出してください。

領収書は直近3ヶ月分を提出してください。水道光熱費に関しては、金額に加え、住所が記載されている部分もコピーしてください。

住居費を会社が一部補助しているかどうかを確認するために、直近1ヶ月分の給与明細書を提出してください。

長期療養者 (6ヶ月以上) がいる場合 [コピー可] [発行元] 医療機関

申請時現在において、同一生計内の家族に6ヶ月以上にわたり療養中又は今後、長期 (6ヶ月以上) で療養が必要と認められる者がいる場合は、以下の書類を提出することにより控除します。1万円未満の端数は切り上げてください。

【提出が必要な書類】

- 病院・薬局・介護サービス提供事業所等で発行される医療費明細書又は領収書
- ※経常的に支出をしていることを証明するために、6ヶ月分を提出してください。
- ※控除の対象となるのは長期療養している者の分のみです。

3. 学力基準チェック

希望した奨学金の学力基準を満たしているか判定した結果が表示される画面です。

奨学金申請

希望奨学金選択 → 学力基準チェック → 家計基準入力 → 申請書入力 → 登録完了

希望奨学金選択画面へ戻る

あなたは学力基準を満たしています。

判定メッセージを確認し、
[家計基準入力へ]ボタンをクリック。

希望奨学金選択画面へ戻る

家計基準入力画面へ進む

4. 家計基準入力・チェック

奨学金申請

希望奨学金選択 → 学力基準チェック → 家計基準入力 → 申請書入力 → 登録完了

家計基準入力画面へ戻る

あなたの家計情報

続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	収入・地上金額(万円)	控除額(給付金等)の計算	所得金額(万円)
家計支持者1	父 宇野院 一郎	55	自営業	600		300
家計支持者2	母 宇野院 花子	50	給与所得	90	65	25
その他1	祖母 宇野院 月子	75				
その他2						
その他3						
所得金額合計						325

希望した奨学金について、家計基準を満たしているか判定するための情報を入力し、判定を行います。主に家計を支えている人(父母両方がいる場合は2名分)の収入状況を入力してください。
※無収入の家計支持者も入力必須。

続柄	氏名	設置者	学校区分	通学別	控除額
就学者1	本人 宇野院 太郎	私立	大学	自宅通学	37
就学者2	姉妹 宇野院 雪子	国公立	高等学校	自宅通学	39
就学者3	兄弟 宇野院 次郎	-	中学校	-	46
就学者4					

本人を含めて弟妹等の在学情報を入力してください。

選択	特別控除項目	数量	金額(万円)
<input type="checkbox"/>	本人の年間授業料		69
<input type="checkbox"/>	子供が3人以上の世帯 控除額:<本人の就学者控除+年間授業料+50万円>><子供人数-2>	3	156
<input type="checkbox"/>	母子・父子世帯(99万円)		
<input type="checkbox"/>	障害のある人及び要介護認定者がいる世帯 各(1名につき99万円)	1	99
<input type="checkbox"/>	別に家計を支えている者が別居している世帯 別居による、住居費等の実費(1万円が上限)		
<input type="checkbox"/>	長期療養者(6ヵ月以上)のいる世帯 療養のために必要な1年間の支出金控除額		
<input type="checkbox"/>	火災・風水害又は盗難などの被害世帯(前年から申込み時までの被害発生時 収入減金額)		20
控除額合計			460
世帯人員			6人

各種控除項目に該当する場合は入力してください。

家計基準判定結果	認定所得額	収入基準額
	-141	-90

あなたは家計基準を満たしています。

判定メッセージを確認し、[家計基準入力へ]ボタンをクリック。

単位は「万円」です。

家計基準入力画面へ戻る

申請書入力へ進む

5. 申請情報入力

奨学金申請

希望奨学金選択 → 学力基準チェック → 家計基準入力 → 申請書入力 → 登録完了

家計基準入力画面へ戻る

申請する奨学金

希望奨学金 希望奨学金 希望奨学金

就学者情報

所属	法学部 法学科 1	氏名	宇野院 太郎
フリガナ	ガクシユウイン タロウ	E-mail	
生年月日	2007年4月1日	携帯電話	
電話番号	111-1111-1111	住所(都道府県)	東京都
郵便番号	171-8588	住所	目白
住所(市・区・町・村)	豊島区	住所(マンション名など)	
住所(番地)	1-5-1		

希望した奨学金の申請に必要な本人や連帯保証人の情報を入力します。

保証人1情報

続柄	父	氏名	宇野院 一郎
フリガナ	ウノノウヰン イチロウ	E-mail	
生年月日	1966/10/15	携帯電話	222-2222-2222
電話番号	111-1111-1111	住所(都道府県)	東京都
郵便番号	171-8588	住所	目白
住所(市・区・町・村)	豊島区	住所(マンション名など)	
住所(番地)	1-5-1		

昨年度までに受給した奨学金の履歴や課外活動・アルバイト等の付加情報、奨学金の申請理由を入力してください。

奨学金受給履歴

年度	名称(貸与・給付)	金額

就学者付加情報

本人のアルバイト状況内容	
本人のアルバイト状況-平均就業時間	
本人のアルバイト状況-平均収入額	
その他	

家計事情

奨学金申請理由 (奨学金を受給するに当たって家庭事情やその他に説明を要する内容を記入してください)	母が病気入院して、入院費で学費がまかなえない状態のため希望させていただきました。
家計年度年月	年 月
就学者の家計情報	理由
	生活費の出所

[入力内容を確認する]をクリックして、入力内容を確認し、[申請する]ボタンで登録してください。登録完了後は、[印刷する]ボタンで、申請書の印刷を行ってください。

家計基準入力画面へ戻る

入力内容を保存する

入力内容を確認する

学生課窓口に提出する書類

各種申請情報を入力・登録後は、申込書を印刷してください。
あわせて「収入に関する証明」等必要関係書類も必ず提出してください。

2025年度 学内奨学金申請書

学籍番号
2025011999

学習院大学長殿

以下の通り奨学金を申請いたします。

奨学金	学習院大学新入学生特別給付奨学金
-----	------------------

私は、上記奨学金を申請するに当たり、奨学金の趣旨を理解し、諸規約及び諸条件について同意し、下記の通り、父母保証人と連署してここに誓約いたします。

本人	法学部 法学科 1	2007年4月1日生	電話	111-1111-1111	携帯電話	
	氏名	ガクシュウイン タロウ	住所	171-8588	東京都	
	印	学習院 太郎	住所	豊島区目黒	申請者本人が自署してください。※押印は不要	
保証人1	父	1965年10月15日生	電話	111-1111-1111	携帯電話	222-2222-2222
	氏名	ガクシュウイン イチロウ	住所	171-8588	東京都	
	印	学習院 一郎	住所	豊島区目黒	父母保証人が自署してください。※押印は不要	

奨学金受給履歴					
年度	名称	金額	年度	名称	金額

本人のアルバイト状況-内容	
本人のアルバイト状況-平均就業時間	
本人のアルバイト状況-平均収入額	
その他	

学部生の認定所得額(単位:万円)

家計支持者						
続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	収入・売上金額	控除額(給与所得)	所得
家計支持者1						
父	学習院 一郎	55	自営業	600		300
家計支持者2						
母	学習院 花子	50	給与所得	90	65	25
所得金額合計						325
その他の家族						
祖母	学習院 月子	75				
就学者						
続柄	氏名	設置者	学校区分	通学別	控除額	
本人	学習院 太郎	私立	大学	自宅通学		37
姉妹	学習院 香子	国公立	高等学校	自宅通学		39
兄弟	学習院 次郎	—	中学校	—		46
所得から差し引かれる金額						
選択	特別控除項目				数量	金額
<input type="checkbox"/>	本人の年間授業料					68
<input type="checkbox"/>	子供が3人以上の世帯 控除額: < 本人の就学者控除 + 年間授業料 + 50万円 > × < 子供人数 - 2 >				3	156
<input type="checkbox"/>	母子・父子世帯(99万円)					
<input type="checkbox"/>	障害のある人及び要介護認定者がいる世帯 名(1名につき99万円)				1	99
<input type="checkbox"/>	主に家計を支えている者が別居している世帯 別居による、住居費等の実費(71万円が上限)					
<input type="checkbox"/>	長期療養者(6ヵ月以上)のいる世帯 療養のために必要な1年間の支出金額実費					
<input type="checkbox"/>	火災・風水害又は盗難などの被害世帯(前年から申込み時までの被害 支出増・収入減金額)				20	20
控除額合計						465
認定所得額						-140
世帯人員						6人
収入基準額						-80

担当使用欄

備考欄		
受付日	処理日1	処理日2

本申込書に記載された情報は、奨学金採用業務及び返還業務(貸与の場合)のために利用されます。提出書類は学習院個人情報保護規定に基づき慎重に取り扱い、上記業務以外には使用いたしません。

入力した家庭事情や家計情報が印字されています。
入力内容に誤りがあった場合は、申請書を赤字で修正のうえ、提出してください(データの修正は、学生課で行います)。

- 「奨学金の手引」(本紙)のP.30を参照し、家計支持者2名分の収入証明等を申請書と併せて提出してください。

学内奨学金の申請方法について

学内奨学金の申請方法について

2. 事務取扱窓口

奨学金に関する事務取扱いの窓口は、「学生センター学生課」です。
 学業成績や家庭の経済状況などの個人情報を扱うため、原則電話での問い合わせには、お答えできません。不明な点は、本人が窓口で確認してください。

場 所	取扱窓口	窓口時間
中央教育研究棟 1 階	学生センター学生課	月～金 8:40～16:45 土 8:40～12:30

3. 奨学金に関する各種情報について

◆大学ポータルサイト G-Port ◆

奨学金に関する各種お知らせや、提出書類の指示等を掲載します。また、本人に緊急に連絡を取りたい場合も、電話又は G-Port により連絡します。
 学内奨学金（学習院大学奨学金・学習院大学新入学生特別給付奨学金・学習院大学学費支援給付奨学金・学習院大学家計急変奨学金）の申請にも G-Port を利用します。

G-Port の確認不足により、奨学金の手続きを行うことができなかったとしても、大学は一切責任を負いませんのでご了承ください。

◆HP ◆

学習院大学 HP 「学生生活」 から「奨学金について」のページに、奨学金に関する各種情報を掲載しています。

主な奨学金申請・採用実績

名称	給付・貸与	区分	令和 5 (2023) 年度		令和 6 (2024) 年度	
			申請数	採用数	申請数	採用数
学習院大学新入学生特別給付奨学金	給付	1 年生	44	43	30	22
学習院大学学費支援給付奨学金	給付	学部	122	80	107	80
学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金	給付	博士後期課程	66	66	62	61
学習院大学教育ローン金利助成奨学金	給付	学部	17	16	22	22
		博士前期課程	1	1	1	1
		博士後期課程	0	0	0	0
		法科大学院	2	2	1	0
学習院大学家計急変奨学金	給付	学部	-	-	9	6
		博士前期課程			0	0
		博士後期課程			0	0
		法科大学院			0	0
学習院大学学業優秀者給付奨学金 ^{※2}	給付	学部	-	-	159	159
		博士前期課程			28	30
安倍能成記念教育基金奨学金 ^{※2}	給付	学部	-	-	6	6
		博士前期課程・博士後期課程			14	14
学習院末松奨学基金奨学金 ^{※2}	給付	人文科学研究科史学専攻	-	-	1	1
関育英資金奨学金 ^{※2}	給付	自然科学研究科	-	-	1	1
※3 第一種奨学金 ^{※1}	貸与 (無利子)	学部	212	172	174	166
		博士前期課程	25	25	22	22
		博士後期課程	3	3	3	2
		法科大学院	7	7	5	5
第二種奨学金 ^{※1}	貸与 (有利子)	学部	282	244	237	224
		博士前期課程	7	2	11	4
		博士後期課程	1	1	1	1
		法科大学院	5	4	4	1
給付奨学金	給付	学部	178	143	199	160

※1 緊急貸与（学習院大学奨学金、日本学生支援機構第一種奨学金）、応急貸与（日本学生支援機構第二種奨学金）は含みません。

※2 推薦制のため、申込できません。

※3 定期採用及び予約採用を含んでおります。